



### 単元（題材）目標

＜探究課題＞

- ◎福祉とは何かについて知り、自分たちにとって身近な障がいについて考え、それぞれの障がいについて本や資料・インターネット等で調べ、自分たちにできることを考えよう。
- 聴覚障がいについて、ろう者の方から聞こえ方や困り感・支援方法についての話を聞き（手話を添えて）、障がいの特性について理解する。また、健聴者・ろう者がお互いの立場を理解し、助け合う気持ちを育てる。

### （1）実施時期

令和2年12月15日（火）

### （2）対象（学年等・人数）

第4学年 94名

### （3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：4学年3名

外部講師：横須賀市立ろう学校  
事務職員1名



### （4）実施内容

○講演「助け合いの心をもって」（各クラス 45分）

※講師：手話を添えながら講演する。

- ・自己紹介。
- ・聴覚障がい者の聞こえ方を体験してみよう。
- ・どんな配慮が必要か考えてみよう。

※ 健聴者は、難聴者に対して、音・声を視覚化することができる。（手話・指文字・筆談等）

※ 事前に、児童から質問したいことをまとめておき、講師に回答してもらった。

### （5）成果

○ろう者の方から直接話を聞いたことで、児童は聴覚障がい者の困り感や配慮について、よく考える機会になった。また、「聞こえ方」を体験したことで、健聴者との聞こえ方の違いを実感し、ろう者特有の聞き間違いや聞こえにくさについて感じる事ができた。全体を通して講師が手話を添えて話すことに触れ、手話の必要性についても知る機会になった。